

名 称 所 在	用 途 (令別表)	発 生 日 時 等	構 造 ・ 階 層 面 積	焼 損 程 度 (焼 損 面 積 延 面 積)	死 傷 者
新宿第一 モナミビル 東京都新宿区 歌舞伎町19	複合用途 (16)イ	昭和51年11月30日	耐火 ⅔	全・半・部・小	死者 0名 傷者 25名
		出火21時50分ころ 覚知21時52分 覚知別 報知電話 鎮火22時36分	建 223m ² 延 2,341m ²	廃材等若干 m ² (0%)	

I 火災概要									
① 概 要	この火災は、繁華街にある雑居ビルのボイラー用煙道が爆発したもので、火災の拡大はなかったものの爆発に伴う、壁等の破裂、天井の落下、窓ガラスの飛散等が起こり、被害の一番大きかった4・5階の客等25名が重軽傷を負ったものである。								
② 階 別 状 況	階	床面積 m ²	焼損床面積 m ²	用途(売場)	在館者 ()内は 従業員の 内数	死 者	避難設備等	消防用設備等	
	PH2	23.60					屋内階段 1箇所 (B1F~9F) ※内部階段 (4F~5F)	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳	
	PH1	23.60					1	救助袋	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳
	9	204.58		飲食店(焼肉屋)	6(6)		9F1	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳	
	8	223.50		遊技場(麻雀屋)	22(2)		緩降機	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳	
	7	204.28		飲食店(居酒屋)	26(14)	傷者 25	4F~8F各1	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳	
	6	223.50		空 室	0		避難はしご	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳	
	5	204.28		飲食店(ディスコ)	38(8)		3F1	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳	
	4	223.50			75(5)				
	3	204.28		飲食店(ゴーゴー アラザ)	87(37)				
	2	223.50							
	1	223.50		ゲームセンター	77(7)				
	B1	209.88							
	B2	150.02	廃材等若干	機 械 室	1(1)				
合計	2,341.72			332(80)	傷者 25				
③ 出 火 場 所	(階、室、部位、可燃物状況、居室・非居室、在・不在) ○地下2階から地上9階屋上まで立ちあがっている煙道内で爆発(4~5階付近と推定される) ○煙道内には各スラブごとにコンクリート梁が出ている。				④ 出 火 原 因	バーナーの不調によるものと推定される。 ※ バーナー不調により発生した未燃ガスが煙道内に滞流し、ボイラーの火又は煙道内の温度上昇により着火爆発したものと推定される。			

⑤ 火 災 の 延 焼 経 路 等	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">(出火部位) ボイラー用煙道内 で爆発</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">(他室及び地階への拡大) 4階以上の階の煙道はく離天井落下ガラス破損地下 2階のボイラー付近の廃材等に着火</div> </div>	
	<p>地下2階から地上9階屋上まで立ち上がっている煙道内の爆発により、4階から9階までの煙道がはく離し、4階の天井落下及びガラス窓破損、5階の壁体はく離及びガラス窓破損、7階の壁体はく離、8階の壁体はく離及びガラス窓・破損、9階の壁体はく離等それぞれ被害を受けた。</p> <p>一方地下2階のボイラーの防爆扉が爆発により開放され、吹き出した炎が周囲にあった廃材及びダクト保温材等に着火し焼損した。</p>	
<p>○ 延焼拡大した主な理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 爆発に伴う爆風により4階以上の階の煙道がはく離し、天井落下、ガラス破損等の被害をもたらした。 ○ 爆発によりボイラーの防爆扉が開放され、吹き出した炎により周囲にあった廃材等に着火した。 ○ 煙の伝播経路 煙道が主であり、煙の影響はほとんどなかった。なお、地下2階のほや火災については、直ちに消火されたため、煙の影響は少なかった。 		
II 火災建物概要		
① 建 築	着工・竣工又は主たる改築等 (竣工) 昭和42年5月 日 () 昭和 年 月 日	
管 理 状 況	② 堅 穴 の 状 況	③ 防 火 管 理 状 況
	階 段 <input checked="" type="checkbox"/> ダクトスペース <input checked="" type="checkbox"/> エレベーター <input type="checkbox"/> パイプシャフト <input checked="" type="checkbox"/> エスカレータ <input type="checkbox"/> その他(煙道) <input checked="" type="checkbox"/> <hr/> 各堅穴は耐火の壁により区画され、開口部は防火戸等を設置している。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 昭和45年5月に消防計画及び共同防火管理協議会の届出がなされているがその後テナントが変更されているにもかかわらず消防計画の変更や防火管理者等の選解任の届出がなされておらず防火管理に対する関係者の認識が極めて薄かった。 ○ 消防訓練は実施されていない。 ○ 建物管理が不適のため再三にわたり指導及び警告を行っているが、未改修又は一時的な改善のくり返しであった。
管 理 状 況	④ 防 火 区 画 等	⑤ 消 防 用 設 備 等
	各階とも一室として使用しており、店内での防火区画なし。	消防用設備等の保守管理は専門業者に委託されており機能は確保されていた。

III 火災後の行動						
① 発 見 状 況	<p>○ 発見者 (建物在館者全員)</p> <p>○ 発見の動機 (爆発音によって覚知)</p> <p>○ 発見後の行動 (騒いで避難する)</p> <hr/> <p>建物内には、332名の者がいたが、全員が爆発音(4階以上の階は煙道のはく離や壁体はく離、ガラス破損をとまなっている)で覚知し、騒ぎ逃げようとして階段方向へ避難している。</p>					
② 通 報 状 況	<p>通 報 した <input checked="" type="checkbox"/> (5階レジにいた店長が通報) 発見後約(2)分</p> <p>しない <input type="checkbox"/></p> <hr/> <p>4、5階に店をもつ「クレージーホース」の店長が5階レジにいた時、突然爆発が起こったため急いで5階客室へ行ってみると、多数の客が負傷して倒れており、すぐにレジに引き返し通報した。</p>					
③ 初 期 消 火 状 況	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">消 火 し た</td> <td> 成功 <input checked="" type="checkbox"/> 失敗 <input type="checkbox"/> ○ 消火時期 <input type="checkbox"/> ○ 消火困難性 <input type="checkbox"/> ○ 消火方法 <input type="checkbox"/> </td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;"> (理由又は状況) 地下2階の電気室で伝票整理していたビルサービス会社社員A(男)は、爆発音で飛び出し、ボイラーの所へ行くとボイラーの後ろに置いてある廃品や上部のダクト保温材が燃えており、ボイラーの防燃扉が2箇所とも開いていた。燃えている火は大したことがなかったため、Aが水道のゴムホースで水をかけて消火した。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">消 火 し ない</td> <td> ○ 消火時期 <input type="checkbox"/> ○ 消火困難性 <input type="checkbox"/> ○ 消火方法 <input type="checkbox"/> ○ その他 <input type="checkbox"/> </td> </tr> </table>	消 火 し た	成功 <input checked="" type="checkbox"/> 失敗 <input type="checkbox"/> ○ 消火時期 <input type="checkbox"/> ○ 消火困難性 <input type="checkbox"/> ○ 消火方法 <input type="checkbox"/>	(理由又は状況) 地下2階の電気室で伝票整理していたビルサービス会社社員A(男)は、爆発音で飛び出し、ボイラーの所へ行くとボイラーの後ろに置いてある廃品や上部のダクト保温材が燃えており、ボイラーの防燃扉が2箇所とも開いていた。燃えている火は大したことがなかったため、Aが水道のゴムホースで水をかけて消火した。	消 火 し ない	○ 消火時期 <input type="checkbox"/> ○ 消火困難性 <input type="checkbox"/> ○ 消火方法 <input type="checkbox"/> ○ その他 <input type="checkbox"/>
消 火 し た	成功 <input checked="" type="checkbox"/> 失敗 <input type="checkbox"/> ○ 消火時期 <input type="checkbox"/> ○ 消火困難性 <input type="checkbox"/> ○ 消火方法 <input type="checkbox"/>	(理由又は状況) 地下2階の電気室で伝票整理していたビルサービス会社社員A(男)は、爆発音で飛び出し、ボイラーの所へ行くとボイラーの後ろに置いてある廃品や上部のダクト保温材が燃えており、ボイラーの防燃扉が2箇所とも開いていた。燃えている火は大したことがなかったため、Aが水道のゴムホースで水をかけて消火した。				
消 火 し ない	○ 消火時期 <input type="checkbox"/> ○ 消火困難性 <input type="checkbox"/> ○ 消火方法 <input type="checkbox"/> ○ その他 <input type="checkbox"/>					
④ 消 火 活 動 概 要	<p>(消防上の支障・困難性等)</p> <p>○ 消防隊到着時、路上にガラス片等の落下物が散乱していたが、ビルからは煙等は見られず、また窓等からの助けを求める人影もなく、爆発階層の判明は不明の状況であった。</p> <p>○ 直ちに屋内階段より救助、及び検索活動を行い、4階より1名救助、また4、5階に残っていた13名を誘導した。救助、検索活動に際しては、各テナント協力が得られたこと、室内照明が消えていなかった等があり容易であった。</p>					

	避難方法	避難上支障事項														
⑤ 避難状況	○階段を利用 <input checked="" type="checkbox"/> (331人) ○エレベーター、エスカレータ利用 <input type="checkbox"/> (人) ○避難器具を利用 <input type="checkbox"/> (人) ○窓、開口部から直接地上へ <input type="checkbox"/> (人) ○救助 <input checked="" type="checkbox"/> (人) ○その他() <input type="checkbox"/> (人)	○無窓 <input type="checkbox"/> ○開口部の格子等 <input type="checkbox"/> ○非常口(出入口)等の施錠 <input type="checkbox"/> ○警報設備 <input type="checkbox"/> (管理不良, 機能不良, 未設置) ○停電 <input type="checkbox"/> ○その他 <input type="checkbox"/>														
⑥ 死者の状況	<table border="1"> <tr> <td>健康人</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>(泥酔者)</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>要保護者</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>乳幼児</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>高齢者</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>身体不自由者</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>病人</td> <td>名</td> </tr> </table> <p>なし</p>	健康人	名	(泥酔者)	名	要保護者	名	乳幼児	名	高齢者	名	身体不自由者	名	病人	名	避難上支障となった事項 ○無窓 <input type="checkbox"/> ○開口部の格子等 <input type="checkbox"/> ○非常口(出入口)等の施錠 <input type="checkbox"/> ○警報設備 <input type="checkbox"/> (管理不良, 機能不良, 未設置) ○停電 <input type="checkbox"/> ○その他 <input type="checkbox"/>
健康人	名															
(泥酔者)	名															
要保護者	名															
乳幼児	名															
高齢者	名															
身体不自由者	名															
病人	名															
IV 問題点・教訓等																
<ol style="list-style-type: none"> 煙道内には、各スラブごとにコンクリート梁が張り出しており、これが煙道内のドラフトを妨げ又は、未燃ガスの滞留箇所となる可能性が大きい。 煙道頂部の近くに空調機の排気口があり、この排気方向が煙道頂部にむいているため、煙道のドラフトを妨げている。 爆発する5日前(それ以前にも何回かあった)にもボイラーのバックファイヤーを起こしているにもかかわらずこの原因究明をおこたっていた。 爆発により全員が建物に1箇所しかない屋内階段に殺倒したが、延焼火災を伴わなかったこと、常連の若者が多く建物内を知っていたこと、照明が消えなかったこと等により避難者は除々に落ち着き始めたため、階段内での二次的の傷者が発生しなかった。 当ビルでは過去4回もばや火災等を起こしているにもかかわらず、関係者の防火管理意識は極めて低かった。 																







